

### 今号の内容

- ◆第2回柳川ブランド認定品が決定ほか 2~3
- ◆やすらぎ保険のご案内ほか 4
- ◆24年度外部評価委員会がスタートほか 5
- ◆市民のひろば(6-7) ◆俳句(7) ◆情報わいど(8-10) ◆がんばったね(10) ◆もちふみデビュー(11) ◆人権・同和教育シリーズ(12)

## 大フジとジャズの調べに酔いしれる

第9回中山大藤まつりが4月18日から5月6日まで催されました。期間中は、市内外から17万人が来場しました。4月27日、午後6時30分からは、柳川市出身でジャズギタリストの田口悌治さんらによるジャズライブを開催。訪れた多くの来場者は、花の香り漂う満開のフジ棚の下で行われたジャズの演奏に聞きほれていました。

# 人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

## 大好きな家族



藤吉小学校4年 武末一吹 さん

私の家族は、去年の12月まで、お父さん、お母さん、お姉ちゃん、私の4人家族でした。でも、12月8日に男の子の赤ちゃんが生まれました。名前は、「頼之(たのしん)」です。

生まれたとき、体温が高かったので、ほかの大きな病院に連れて行かれました。1週間ほど入院しなければなりませんでしたが、「赤ちゃん、だいじょうぶかなあ。」と、心配でたまりませんでした。退院して、初めて弟の手をさわりました。弟の手は、プニプニしていて、気持ちよかったです。毎日、はやく宿題を終わらせて、弟をすつと見ている。

意味が分かっているのかよく分からないけど、よくわらいます。とってもかわいいです。なくともなくともあります。なくときは、「アッ、アッ、アッ、ウエーン。」となきます。私がつこしたらなきやみます。おふるでは、頭をうったり、顔がお湯につかったりしたら、とんでもないほどの大きな声でなきます。ねるときは、だつこしてすぐねるときもあれば、いつまでだつこしてもねないときもあります。おきるときは、なきながらおきるときもあれば、おきながら指をちゅちゅつしなから、にこにこしておきるときもありません。でも、指ちゅちゅつがとれるときもありません。

お姉ちゃんは、そんな弟を見て、「いいなあ。」といました。そしたらお母さんが、「あんたも、そげんかじぎがあつたたい。」といいました。だから、「私もそんなじぎがあつたのかなあ。」と、心の中で思いました。なんだかはずかしいようなうれいような気持ちになりました。家族に助けられ、家族に守られて生きているんだなあと思いました。そんな家族が大好きです。これからもたくさんのおいしくおねがいします。



【評】家族の温かさが伝わってくる作文ですね。私たちは、周りの人の支えがないと生きていけませんね。また、自身も誰かの役に立っていることが分かりますね。一人一人が大事な存在なのです。お互いに支え合い、頑張ってくださいましょう。